

## 「立山芦峯小学校の利活用についての意見交換会」を開催



立山芦峯小学校



学校内の視察



意見交換会

北陸総合通信局（局長：齊藤一雅）は、平成24年3月7日、富山県立山町芦峯（あしくら）小学校で「立山芦峯小学校の利活用についての意見交換会」を開催しました。

本意見交換会は、現在休校となっている芦峯小学校の利活用を通じた地域の活性化をめざし、立山町芦峯寺（あしくらじ）で活動されている「芦峯利活用協議会」の呼び掛けを受けて、実施することとなったものです。

意見交換会では、「芦峯利活用協議会」から、「立山信仰の里」としての歴史と豊かな自然・文化を有する芦峯寺地区の特徴や芦峯寺エコミュージアム構想、立山エベレスト友好協会の活動等の紹介があり、その後、ICTの利活用を含めた芦峯小学校の利活用のアイデアについて、意見交換を行いました。

芦峯小学校は、ネパールのエベレスト登山口にあるクムジュンスクールと姉妹提携を行っており、これまでも活発な訪問、交流を続けていることから、ネパールでWiFiネットワーク整備の支援を行い、大きな成果を上げている社団法人日本国際情報通信協会（JIIA）の平山和久理事及び伊藤数子理事に特別に参加していただきました。

意見交換会では、①学校周辺の自然や文化を活かし、他の施設と連携した取組が必要、②スポーツ選手の合宿施設としての利用の可能性、③施設の一部を利用してネパールのクムジュンスクールとの間でインターネット（スカイプ）を介したテレビ会議による交流の継続など、様々なアイデアが出され、有意義なミーティングの機会となりました。

芦峯小学校は、施設も新しく、豊かな自然・文化を誇る芦峯寺地区の中核施設となる可能性があることから、今後の「芦峯利活用協議会」の活動が大いに期待されます。

問い合わせ先：情報通信部情報通信振興室 076-233-4430